

高谷中学校ブロック

義務教育学校の設置に関する検討委員会

【別冊資料】

1 信篤三つ葉学園プロジェクト会議だより①から④【P 1 から P 8】

2 高谷中学校の保健体育の先生による授業を受けた感想（まとめ）

【P 9 ・ P 1 0】

信篤三つ葉学園 プロジェクト会議だより ①

高谷中学校、信篤小学校、二俣小学校の3校は、令和4年度より市内2例目の小中一貫型小学校・中学校「信篤三つ葉学園」となりました。

これに伴い、小中一貫教育の推進に向けた、具体的な取り組みの検討を行うため、各学校の教職員の代表で構成する「信篤三つ葉学園プロジェクト会議」を設置し、1回目の会議が開催されましたので、その概要をお知らせいたします。

- 1 開催日時 令和4年5月9日（月） 10時00分～11時00分
- 2 会 場 市川市立高谷中学校
- 3 参 加 者 ・高谷中（校長・教頭・教務主任）、信篤小（校長）、二俣小（校長）
（10名） ・教育委員会（指導課・学校環境調整課）の担当者
- 4 内 容 （1）信篤三つ葉学園のグランドデザイン（全体構想）について
（2）義務教育9年間を貫く教育課程について
- 5 会議の概要
（1）信篤三つ葉学園のグランドデザイン（全体構想）について

●他校の事例を参考に、グランドデザイン（全体構想）の柱となるキーワードの検討を行いました。

【会議の意見】

- ・他校の「ユニバーサルデザインを取り入れた学習環境及び学習規律の統一」は良い。このキーワードは色々な学習につながり、小・中学校で、一貫した学習ができると思う。
- ・「学校地域交流連携活動」は良い。地域の方々とたくさん関わることで、知り合いが増え、声を掛け合うなど、顔の見える関わりが持てる活動ができると良い。信篤三つ葉学園の子供たちが9年間、同じ目標で育つことで、「この地域で学べてよかった。」という思いが持てる子供になってほしい。
- ・「中1ギャップ」を早い段階から取り除くことができれば、中学校への進学不安がなくなるなど、子供にとってプラスになるだけでなく、小・中学校で連携することで、教育相談が充実し、教職員にとってもプラスになる。
- ・「体力向上」も必要で、部活動の交流や小・中学校において体育の授業の連携を推進していくと、子供たちの心身の成長につながると思う。
- ・中学校に進学した際に、信篤小と二俣小の子供たちが、居心地よく学校生活がおくれるよう「小小連携」を図っていきたい。
- ・高谷中ブロックには、10年前から「授業を受ける上での約束」があるが、今は教室の飾りになってしまっているので、見直しを行い、生かしていきたい。
- ・今の社会情勢から、「平和教育」も必要。「心の教育」、「道徳教育」も大切。
- ・「心の教育」では図書にも力を入れていきたい。「道徳教育」では児童生徒の心を揺さぶることが大事。



これらの意見を集約し、次回の会議で、さらに検討を進めていきます。

(2) 9年間を貫く教育課程について

○他校の事例を参考に、義務教育9年間を貫く教育課程（新しい教科・領域）でテーマとする内容について検討を行いました。

【会議の意見】

- ・「ふるさと」という言葉は良いが、二俣では官舎も無くなり、地域のイメージが変わっている。しかし、他にはあまり見られない特徴として、この地域は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校が近くにある。これを生かして、幼小中高、特別支援学校との連携・交流が入ると良い。
- ・「ふるさと」は難しいかも知れないが、三つ葉学園という広い地域で捉えて、地域の色々な施設で学べる教科があると良い。
- ・地域貢献を進めていきたい。地域の方々に子供たちを見てもらえる上に、子供たちも見守られているという意識付けができ、地域とのかかわりができるのではないかなと思う。
- ・この地域は、豊富な教育関連施設や老人ホーム、そして、三番瀬など自然環境もあるので、それを活用した教育や交流など、地元の資源や環境を活用して実施できる教科になるとよい。この教科を実施することで、子供たちの自らの学びや地元を知る学びにつながると思う。
- ・学校と地域が関係しているので、「ふるさと」ではなく、「学校と地域の連携を示す」教科が良いと思う。また、学園目標では、「未来をみつめ、心豊かに、自分らしさが輝く児童生徒の育成」であり、「心豊かに」とあるので、「心の教育」もできるとよい。
- ・これまでの意見で共通している点は、「地域」を意識していること。総合の学習でよく行うことは、「材」を見つけることであり、それは「物」だけでなく「人」も含まれる。「材」として価値があるものを見つけ、3校で共通認識を持って授業を作ることが大切と感じた。
- ・地域との交流活動を大事にしながら、しっかりと教育課程として位置づけることも大切。



次回の会議では、教育委員会が提示する教育課程の事例を参考に、さらに検討を進めていきます。

6 次回の予定

開催予定：令和4年6月27日（月）

開催場所：高谷中学校会議室

お問い合わせ先（事務局）：市川市教育委員会 学校教育部 学校環境調整課
Tel：047-702-5355／Fax：047-383-9203

信篤三つ葉学園 プロジェクト会議だより ②

第2回プロジェクト会議の概要をお知らせします。

- 1 開催日時 令和4年6月27日（月） 10時00分～11時00分
- 2 会 場 市川市立高谷中学校
- 3 参 加 者 ・高谷中・信篤小・二俣小（校長・教頭・教務主任）
（14名） ・教育委員会（指導課・学校環境調整課）の担当者
- 4 内 容 （1）意識調査の結果について
（2）信篤三つ葉学園の「グランドデザイン」について
（3）義務教育9年間を貫く教育課程について

5 会議の概要

<前回の振り返り>

- ・信篤三つ葉学園の「グランドデザイン」の柱となるキーワードを検討。
- ・義務教育9年間を貫く教育課程の内容のテーマを検討。

（1）意識調査の結果について

○第11回義務教育学校の設置に関する検討委員会において報告があった、意識調査の分析結果を確認し、グランドデザイン等の検討にあたり、分析結果を踏まえることについて共通理解を図りました。

（2）信篤三つ葉学園の「グランドデザイン」について

○意識調査の分析も踏まえ、前回に引き続き、グランドデザイン（全体構想）の柱となるキーワードの検討を行いました。

【会議の意見】

- ・意識調査の分析にもあった「愛校心」を育んでいくことは大事。地域の良いところや歴史を調べることで、その良さに気づいて「愛校心」が育むことに繋がる。
- ・「特別支援教育」を柱に必要。特別支援教育を充実していくことで、学力や生徒指導にも良い効果があると思う。
- ・「ユニバーサルデザインを生かした学習」を高谷中ブロックの中で広げられると良い。
- ・特別支援学校や高校、幼稚園との「交流活動」があると良い。
- ・意識調査の分析で「大切な他者の存在」に不安があることが課題と報告されていた。大切な他者が、学校内に留まらず、学園の多くの子どもたち、大人との関わりができることで、不登校傾向の子どもたちにも少しでも光が見えるのではないかな。
- ・他者の存在を認める、意識できるということから、「特別支援教育」が柱に入ると良い。
- ・「幼・小・中・高・特別支援学校連携」など、地域性を生かした交流になると良い。
- ・これまでの意見をキーワードとしてまとめると次のとおりになると思う。

「他者の存在・他者に対する共感的な姿勢（心の教育・愛校心に繋がる）」、「地域」、「学力と体力向上」、「特別支援教育、道徳」

(3) 義務教育 9 年間を貫く教育課程について

○他市の事例等を教育委員会から紹介し、前回に引き続き、義務教育 9 年間を貫く教育課程（新しい教科・領域）でテーマとする内容について検討を行いました。

【会議の意見】

- ・児童生徒のやりたいことに必然性を持たせることが大事だと思う。
- ・児童生徒のアンケートに沿って、やりたいことをやった方が意識として向上する。「インターネット」は児童生徒にとって身近なので視野に入れても良いと思う。
- ・「地域」の魅力、資源を出していくと良い。
- ・ICT を活用しながら、地元の「地域」を生かすための体験学習ができると良い。
- ・今、各学校で実践している学習を生かして実施できた方が、取っ掛かりとしては取り組みやすい。
- ・児童生徒のアンケートでは「防災」「動植物」「外国」「インターネット」を希望する声が多い。児童生徒の関心が高かったものをインターネットや I C T を活用し、メディアリテラシーと合わせて学習できると良いのではないかと。
- ・児童生徒のアンケートは、発達段階で移り変わるので、大きな枠で捉えたほうが良い。例えば、「地域」の資源として真間川を扱う授業をする際、「防災」や「環境」も関わってくる。
- ・児童生徒のアンケートでは、「インターネット」が、それぞれの学年で高くなっているが、インターネットだけで学習をすることは、難しいと思う。これまでの意見にあるように、「防災」「環境」を学習する中で、タブレットを活用するとよいと思う。また、「防災」「環境」には、SDG s が含まれ、「動植物」にもつながると思う。
- ・本日の意見を次回の会議につなげていきたい。

6 次回の予定

開催予定：令和 4 年 7 月 1 1 日（月）

開催場所：高谷中学校会議室

お問い合わせ先（事務局）：市川市教育委員会 学校教育部 学校環境調整課
Tel：047-702-5355/Fax：047-383-9203

信篤三つ葉学園 プロジェクト会議だより ③

第3回プロジェクト会議の概要をお知らせします。

- 1 開催日時 令和4年7月11日（月） 10時00分～11時00分
- 2 会 場 市川市立高谷中学校 会議室
- 3 参 加 者 ・高谷中、信篤小、二俣小（校長、教頭、教務主任）
（11名） ・教育委員会（指導課、学校環境調整課）の担当者
- 4 内 容 （1）信篤三つ葉学園の「グランドデザイン」について
（2）義務教育9年間を貫く教育課程について
（3）3校合同のオンライン集会の実施について

5 会議の概要

（1）信篤三つ葉学園「グランドデザイン」について

○前回までの検討を踏まえて整理した、グランドデザイン（全体構想）の柱となるキーワードおよび内容について検討を行いました。

＜前回までの意見を反映した柱となるキーワードの整理＞

柱1「学力向上」

- ・9年間を貫く教育課程
新たな教科、領域の創設（未定）
- ・体力向上

柱2「他者理解」

- ・愛校心の育成
- ・心の教育の推進

柱3「特別支援教育、道徳教育」

- ・特別支援学級、県立市川特別支援学校等との交流および連携の推進
- ・心の教育の充実

柱4「学校、地域、交流連携活動」

- ・ふるさとを大切にする教育の推進
- ・教育の接続化
幼小中高、小小の連携および交流
- ・コミュニティ・スクールの推進

【会議の意見】

- ・前回出された意見を基に、「学力向上」「他者理解」「特別支援教育、道徳教育」「学校、地域、交流連携活動」を4つの柱として整理した。
- ・柱1について、前は、「学力向上と体力向上」のように並列にしていたが、意識調査の結果を受けて「学力向上」を主とするため、「体力向上」を内容に移した。
- ・柱2の「他者理解」と柱3の「特別支援教育、道徳教育」の中身に「心の教育の推進」と「心の教育の充実」という似た言葉が入っているので、どちらかに統一した方がいい。
- ・柱2の「他者理解」としているキーワードを、もっと具体的に、わかりやすくしたかどうか。また、柱3の「道徳教育」というキーワードを、「他者理解」の内容に移したかどうか。
- ・柱1の「学力向上」あるいは柱3の「特別支援教育、道徳教育」の内容に「ユニバーサルデザインの視点」を入れていきたい。ただし、どちらに置くかは考えなくてはならない。
- ・柱3の「特別支援教育、道徳教育」の内容に「個に応じた支援」という言葉を入れたらどうか。
- ・柱4の「学校、地域、交流連携活動」の内容にある「ふるさと」については、この地域ならではの言葉に変えていきたい。例えば「わが町」などはどうか。
- 合わせて内容の「幼小中高、小小の連携および交流」に「特別支援」も加えたらどうか。



出された意見をグランドデザイン案に反映させ、次回も引き続き検討していくこととなりました。

(2) 義務教育 9 年間を貫く教育課程について

○前回に引き続き、義務教育 9 年間を貫く教育課程（新しい教科・領域等）において、テーマと
する内容について検討を行いました。

【前回出された意見】

- ① （児童生徒のやりたいことに）必然性を持たせることが必要ではないか
- ② 各学校で実施している学習内容を生かした取り組みを、さらに広げる内容にしたかどうか
- ③ 大雨への対応など「防災」を中心とした学習はどうか
- ④ 倉庫が多い地域であることから「物流」とした学習はどうか
- ⑤ クリーンセンターが地域にあることから、「環境」を中心とした学習はどうか
- ⑥ ②から⑤までの内容を、ICTを使って調べる等、子ども達の興味につながるようにする
- ⑦ 子ども達の意識調査で上位にある内容は、「SDGs」につなげられるのではないか

【会議の意見】

- ・ 今後は、前回出された意見をもとに、新しい教科の創設に向けて検討を進めたい。



夏休みの期間を使い、3 校の教務主任の先生方と市教委とで具体的な検討し、次回のプロジェクト
会議で検討した内容を報告することとしました。

(3) 3 校合同のオンライン集会の実施について

○3 校合同での初の取り組みとして、オンライン会議システムを使った「合同オンライン集会」
を実施することについての提案がありました。

【提案内容】

- ・ オンライン会議システム「チームス」を使い、夏休み期間中の過ごし方などについて、3 校の
校長先生方に話をしてもらい、その後、各学校に分かれて詳しい話（学習や生活等）をする流
れで実施したい。（7 月 20 日実施予定）
- ・ 小学校と中学校では、登校してから 1 時間目の授業が始まるまでの時間が違うので、この日は
3 校の時間を合わせて実施したい。

【検討内容】

- ・ 3 校の全ての先生方の紹介は難しいが、3 校で初めて行うイベントなので、校長だけでなく、
教頭や教務主任の先生方にも挨拶をしてもらったかどうか。



当日は、3 校の校長先生から、①合同開催の目的、②夏休み中の学習、③夏休みの中の生活について
話をすると共に、教頭先生と教務主任の先生からも挨拶を行いました。（詳細については、10 月に
開催予定の「第 12 回 義務教育学校の設置に関する検討委員会」の会議だよりにて報告します。）

6 次回の予定

開催予定：令和 4 年 9 月 5 日（月）

開催場所：高谷中学校 会議室

お問い合わせ先：市川市教育委員会 学校教育部 学校環境調整課
Tel：047-702-5355/Fax：047-383-9203

信篤三つ葉学園 プロジェクト会議だより ④

第4回プロジェクト会議の概要をお知らせします。

- 1 開催日時 令和4年9月5日（月） 10時00分～11時00分
- 2 会 場 市川市立高谷中学校
- 3 参 加 者 ・高谷中・信篤小・二俣小（校長・教頭・教務主任）
（12名） ・教育委員会（指導課・学校環境調整課）の担当者
- 4 内 容 （1）信篤三つ葉学園の「グランドデザイン」について
（2）新たな教科、領域の創設に関する提案について
（3）3校で実施できる取り組みの検討について

5 会議の概要

<前回の振り返り>

- ・信篤三つ葉学園の「グランドデザイン」の柱となるキーワードを検討。
- ・義務教育9年間を貫く教育課程の内容のテーマを検討。
- ・3校合同のオンライン集会（7月20日）の実施の検討。

（1）信篤三つ葉学園の「グランドデザイン」について

前回の会議を受け、4つの柱の中で示す取り組みについて、修正しました。

柱：「学力向上」

- ・9年間を貫く教育課程
「新たな教科、領域」の創設
- ・**ユニバーサルデザインを取り入れた学習環境および学習規律の統一**
- ・体力向上

柱：「心の教育の推進」

- ・**他者の存在、他者に対する共感的な姿勢の育成**
- ・愛校心の育成
- ・**道徳教育の充実**

柱：「特別支援教育、道徳教育」

- ・特別支援学級、県立市川特別支援学校等との交流および連携の推進
- ・**個に応じた支援を行うための特別支援教育の充実**

柱：「学校、地域、交流連携活動」

- ・「**わが町**」を大切にする教育の推進
- ・教育の接続化
幼小中高**支援**、小小の連携および交流
- ・コミュニティ・スクールの推進

※太字が修正箇所



◎今回修正した内容でグランドデザインを作成しました。
現在各校のホームページでご覧いただけます。

(2) 「新たな教科、領域」の創設に関する提案について

3校の教務主任の先生方が、「新たな教科、領域」について行った会議の報告と提案をしました。

【会議の報告・提案の内容】

- ・会議では、これまでの経緯を踏まえ、地域の教材を生かして、各校の既存の総合的な学習の時間の単元と紐付けて展開していくという案がでました。
- ・教務の先生方で話し合った結果、「わが町探究」を「新しい教科、領域」の柱とする方向で検討しました。
- ・地域を理解して、愛着を持つことが一番ではないかという考えのもと、総合的な学習の時間を軸に、実施できる単元や活動を各学校等の実態に沿って選択していくことについて、プロジェクト会議で提案をしました。
- ・今回のプロジェクト会議では、提案を受けた内容の確認と、「新しい教科、領域」を「総合的な学習の時間」で扱うことについての共通理解を図り、今後も引き続き検討を進めていくこととなりました。

(3) 3校で実施できる取り組みの検討について

【環境教育の実施について】

- ・検討委員会の委員より、「最近、地域で、ゴミのポイ捨てが増えているため、環境に関する授業などでゴミの出し方などを改めて教えられるとよいのではないか。」とのご提案をいただきました。
- ・小学4年生の社会科の「ゴミ」の授業や学校行事のスケジュール等を考えた上で、市の出前授業の活用など、できることから実施していくことになりました。

【乗り入れ授業や交流活動等の実施】

- ・中学校の先生が、小学校の授業を行う「乗り入れ授業」について、体育や図工など実施する授業を検討しました。

※高谷中学校の保健体育の先生が、小学5・6年生の体育の授業で「ボールの投げ方」の乗り入れ授業を実施しました。(9月下旬：二俣小学校、10月上旬：信篤小学校)
詳細は、「第12回義務教育学校の設置に関する検討委員会」のたより等で改めてお知らせいたします。

- ・その他、図書に関する取り組みなど、各学校間で連携できる取り組みについて検討しました。

(4) 連絡事項

- ・高谷中学校の美術イラスト部の協力で、信篤三つ葉学園のキャラクターデザインを作成しました。グラウンドデザインなど、今後、様々な機会を活用していく予定です。

6 次回の予定

開催予定：令和4年11月上旬予定

開催場所：高谷中学校会議室

お問い合わせ先(事務局)：市川市教育委員会 学校教育部 学校環境調整課
Tel：047-702-5355/Fax：047-383-9203

高谷中学校の保健体育の先生による授業を受けた感想（まとめ）

＜授業を通しての感想＞

- ・とても楽しかった。 ほぼ全員
- ・遠くに飛ばせるようになって嬉しかった。 ほぼ全員
- ・これは遠くに飛ばせるなど自信がついた。

＜教え方や投げ方のポイントについて＞

- ・教え方がとてもわかりやすかった。複数あり
- ・1つ1つの動作について、例を見せてくれたことで、どのように投げたらいいのかのイメージができた。
- ・タオルや柔らかいボールを使うことで、とてもわかりやすかった。
- ・タオルを使った練習があることを知れた。
- ・タオルを使った練習を、家でもやっていきたい。
- ・投げ方のコツがわかった。
- ・普段は気にしていなかった、ボールの持ち方や投げ方を教えてもらい、貴重な経験になった。
- ・投げるときには、目標を決めることが大切だとわかった。
- ・たくさん投げることで、投げるときの姿勢や手首を使うことがよくわかった。
- ・45度を意識して投げると、あまり力を入れずとも簡単に投げられた。
- ・体を横にしてから投げるのがわかった。
- ・ボールを手から離すタイミングは、自分が思っているよりも早く離すと、遠くに飛ばせるということがわかった。
- ・投げる前のストレッチや運動も大切だとわかった。
- ・ラジオ体操の手足の運動が、ボールの投げ方につながっていることがわかった。

＜授業を受けて実感したことや今度について＞

- ・スポーツテストの時より距離が伸びた。複数あり
- ・ボール投げが苦手だったけど、中学校の先生に教えてもらって距離が伸びた。
- ・投げるときに体全体を使って投げることができるようになった。
- ・先生に教わったことを生かして、次のスポーツテストでがんばりたい。
- ・次のスポーツテストが楽しみだ。
- ・今までは、自分のすぐ下に落ちていたけど、教えてもらったことで遠くに投げられるようになった。
- ・別の種目でも、教わった投げ方を生かしたい。
- ・先生の投げ方をまねしたら、とても遠くに飛ばすことができた。

- ・教えてもらったことを忘れずに、次のスポーツテストで投げたい。
- ・休日にボールを投げるスポーツをやっていて、投げ方がうまくいっていなかったが、ボールの投げ方を教えてもらったことで、投げるときの形がわかった。
- ・投げるときは、斜め45度を意識することを教わって、距離が伸びた。
- ・ボールを投げるときのリズムを学んで、距離が伸びた。
- ・練習を続けて、もっと上手になりたい。
- ・「1、2、3、4」と言いながら投げる練習をしたり、タオルを使って練習したりすることで、投げるときのイメージができた。これからも続けたい。

＜中学校に関することについて＞

- ・中学生の授業の先取りができてよかった。
- ・中学生で教えてもらえることを、小学生の内から教えてもらえてラッキーだと思った。
- ・中学生で行う授業の様子がわかった。
- ・中学校でソフトボールを投げるときに、よい記録を出したい。

＜その他（要望）＞

- ・時間が短く感じたので、もっと時間を伸ばして欲しかった。
- ・一回ではなく、また教え欲しい。